

## 溶融亜鉛－5 %アルミニウム合金 めっき鋼板及び鋼帯

### 正 誤 票

区分	位 置	誤	正
	まえがき	JIS G 3317 : 2004 には、次に示す附属書がある。	JIS G 3317 : 2005 には、次に示す附属書がある。
本体	表 15	製品厚さの許容差（熱延厚板を用いた構造用の場合）	製品厚さの許容差（熱延原板を用いた構造用の場合）
	表 18 備考	通常、公差（A）はミルエッジを適用し、公差（B）はカットエッジを適用する。	通常、公差（A）はミルエッジに適用し、公差（B）はカットエッジに適用する。
	附属書 4 9.2.2	<b>1点試験</b> 1点試験の結果は、3点試験に用いた3個の試験片の任意の1個から求めた最小めっき付着量とする。	<b>1点試験</b> 1点試験の結果は、3点試験に用いた3個の試験片の測定値から求めた最小めっき付着量とする。
	表 14	表示厚さ	製品厚さ
	表 14 備考 1. 表 15	表示厚さが 5 mm 以下の場合には、…。 表示厚さ	製品厚さが 5 mm 以下の場合には、…。 製品厚さ

平成 17 年 11 月 1 日作成